科目		都市環境工学I (Civil and Environmental Engineering I)			
担当教員		柿木 哲哉 准教授			
対象学年等		都市工学科・5年・前期・必修・1単位(学修単位I)			
学習·教育目標		A2(100%) JABEE基準1(1) (c),(d)1			
授業の 概要と方針		都市環境の創造に関する基礎的な知識を習得し,実際に利用できる素地を作ることを目的とする.			
		到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準	
1	【A2】都市環	境の定義について説明できる.		都市環境の定義について説明できるかレポートと中間試験で評価する.	
2	【A2】都市における熱環境について説明できる.			都市における熱環境について説明できるかレポートと中間試験で評価する.	
3	【A2】環境シミュレーションについて説明できる.			環境シミュレーションについて説明できるかレポートと中間試験で評価 する.	
4	【A2】風通しを考慮した住宅地計画について説明できる.			風通しを考慮した住宅地計画について説明できるかレポートと定期試験で評価する.	
5 【A2】緑化計		画による都市熱環境の改善について説明できる.		緑化計画による都市熱環境の改善について説明できるかレポートと定期 試験で評価する.	
6	【A2】環境アセスメントについて説明できる.			環境アセスメントについて説明できるかレポートと定期試験で評価する	
7 8 9					
総合評価		成績は,試験80% レポート20% として評価する.試験成績は中間試験と定期試験の平均とする.合格点は100点満点で60点以上とする.			
テキスト		「都市環境学」:都市環境学教材編集委員会編(森北出版)			
参考書		「環境工学 第3版」:石井一郎(森北出版)			
関連科目		海岸工学,河川工学,水辺環境学			
履修上の 注意事項		特になし.			

_	<del>,, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,</del>	授業計画1(都市環境工学)
回 1	テーマ 都市型社会と都市環境問題1	内容(目標,準備など) 都市環境の定義,都市への人口集中に伴う環境問題の発生について述べる。
2:	都市型社会と都市環境問題2 	都市の拡大,都市環境整備について述べる.
: 3	都市の熱収支とヒートアイランド現象1	都市内外の建築物や地表面などにおける熱バランス,ヒートアイランドの構造について述べる.
4	都市の熱収支とヒートアイランド現象2	ヒートアイランドの実態と対策について述べる.
5	都市・地域計画におけるクリマアトラスの活用	都市環境クリマアトラスとその都市計画・建築計画への適用について述べる。
6	CFDを利用した都市気候シミュレーション1	温熱環境の形成に及ぼす気流分布の役割,流体の数値解析手法について述べる.
7	CFDを利用した都市気候シミュレーション2	温熱環境の形成に及ぼす気流分布の役割、流体の数値解析手法について述べる。
8	中間試験	中間試験を実施する.
9	CFDを利用した都市気候シミュレーション3	都市スケール,街区スケールの解析事例について述べる.
10	風通しを考慮した住宅地計画1	地域全体の風通しを考慮した住宅地計画のあり方について述べる。
11	風通しを考慮した住宅地計画2	地域全体の風通しを考慮した住宅地計画のあり方について述べる。
12	緑化計画による都市熱環境の改善1	都市熱環境を改善する緑化計画のあり方について述べる.
13	緑化計画による都市熱環境の改善2	都市熱環境を改善する緑化計画のあり方について述べる.
14	環境アセスメントと都市環境1	環境アセスメントの目的,定義,手続き,事例について述べる.
15	環境アセスメントと都市環境2	環境アセスメントの目的,定義,手続き,事例について述べる.
備考	前期中間試験および前期定期試験を実施する	